

## 連携ニュース

## 医療連携の更なる推進を！～就任のご挨拶とともに～

多摩総合医療センター事務局長 日浦 憲造

近隣医師会の先生方をはじめ、関連医療機関の皆様方には多摩地区を中心とした地域医療とりわけ医療連携につきまして、日頃より、御理解・御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。私は、この7月の夏季人事異動で事務局長を拝命いたしました日浦と申します。前職は、都立の公園、庭園、動物園、霊園などを整備・管理する部署にありました。緑を通して都民に潤いや安らぎを実感していただくという行政サービスを提供していましたが、一転して、医療サービスの提供と、はなはだ戸惑いはありますが、一生懸命勉強させていただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

多摩総合医療センターは、人口400万人を超える多摩地域住民の期待に応え、多摩地域における唯一の総合的な医療機能を持つ都立病院として、本年3月1日に開設し、この8月からは全病棟がフルオープンとなり、本格的に移動いたしました。

この多摩総合医療センターの最大の使命は、救急医療・がん医療・周産期医療を3本柱とする一方、あらゆる疾患に対応できる機能と設備を有効に活用して多摩地域の医療レベルの向上に貢献することです。

こうした使命を十全に果たすためには、医療技術の進歩に的確に対応した質の高い医療を提供するとともに、より一層、患者サービスを向上させるなど、医療サービスの更なるレベルアップを図っていかねばなりません。そして、その実現には、今まで以上に、医療機能の分化・連携というものが重要であり、地域の医療機関がお互いに連携し、それぞれの医療資源を有効に活用していく必要があると考えております。

これまで、返送、逆紹介を積極的に進め、関係医療機関との協力関係を構築するとともに、医療連携臨床懇話会等を通して相互研鑽に努めてまいりました。

引き続き、地域の医療機関との密接な連携に努め、地域全体での医療の質の向上と医療資源の有効活用を図りながら、患者中心の継続性ある医療サービスの充実を目指していく所存です。

今後とも、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。



## 放射線科より

### お知らせ CD-R による放射線画像の提供について

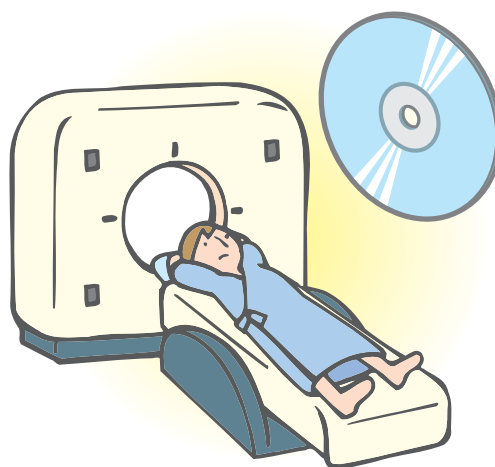
当センターでは、完全フィルムレス化を目指して基盤整備を進めており、医療連携のご施設への放射線画像を、従来のフィルムからCD-Rに替えて提供することを推奨しております。

このCD-RはDICOMフォーマットで記録されており、画像閲覧ソフトが付属されておりますので、Windowsパソコンがあれば誰でも簡単に閲覧できます。また、拡大、縮小、連続再生、計測などの機能も備わっております。フィルムの管理が不要になり、省スペース、低コストという利点もありますので、是非ご利用いただきたいと存じます。

放射線検査依頼時に、画像情報の提供をCD-Rでご希望の場合は、「CD-R希望」とご指示ください。試しにCD-Rをといる場合には初回に限り、CD-Rとフィルム両方での提供もいたしますので、「両方希望」とご記入ください。

また、患者さまを当院にご紹介いただく際にも、DICOMフォーマットで記録されたCD-Rでご提供いただくことが可能になりましたのでお知らせいたします。（※JPEG等で記録された画像は不可）

今後ともより良い医療連携の構築に努めてまいりますので、多摩総合医療センター放射線科をよろしくお願ひします。



#### 都立多摩総合医療センター ● 人事異動

【退職】平成22年5月31日付

形成外科医員	此枝 央人
脳神経外科医員	杉山 耕一

【昇任】平成22年7月16日付

輸血科医長	梶原 耕一
内科医長	並木 伸

【採用】平成22年6月1日付

形成外科医員	安嶋 康治
--------	-------

【採用】平成22年8月1日付

整形外科(非)	中川 誉之
---------	-------

【退職】平成22年6月30日付

脳神経外科(非)	檀浦 宏基
----------	-------



## 術中に予期せぬ心室細動を起こした1症例

麻酔科医員 渡邊 弘道

全身麻酔、硬膜外麻酔を併用した麻酔中に突然、心室細動をきたした症例を経験しましたので報告します。

**【症例】** 64歳 男性 180cm 64kg

**【現病歴】** 高血圧で近医通院中、PSA高値を指摘され、前立腺生検でadenocarcinomaの診断で前立腺全摘除術予定となりました。高血圧、喫煙以外のリスク因子、既往歴はなく、心電図も正常範囲内でした。

**【麻酔・手術】** Th11/12より硬膜外カテーテルを問題なく挿入し、全身麻酔を導入しました。麻酔維持にはセボフルランと硬膜外麻酔（0.2%ロピバカイン）を用いました。

執刀から約45分後、特に誘因なく心電図で3、4秒おきにsinus rhythmとVfを繰り返し、観血的動脈圧波形も収縮期圧で40～80mmHgに変化しました。除細動器を取り寄せるよう指示し、リドカインを静注し、心臓マッサージを開始しようとしたところ、リドカイン静注が奏功しST上昇した洞調律に回復しました。経食道心エコーで血栓は認めませんでした。前壁中隔の局所壁運動低下を認めました。心エコーと並行し、硝酸イソソルビド静注しニコランジル及びリドカイン持続投与を開始しました。徐々にSTは基線にもどりましたが、心エコー中に再度ST上昇を伴う頻脈が出現し、執刀医と相談し手術中止としました。

**【術後経過】** 術直後に冠動脈造影を施行しましたが、有意狭窄は認めませんでした。後日、冠動脈アセチルコリン負荷テストで前下行枝に攣縮が出現し冠攣縮性狭心症と診断されました。詳細に病歴を確認したところ、1年ほど前から車を運転している時や寒い日に胸が締め付けられるような症状が確認されました。退院後、シルチアゼムとイソソルビド内服で経過観察され、胸部症状は一度も認めていません。

**【考察】** 冠動脈攣縮とは、心臓の表面を走行する比較的太い冠動脈が一過性に異常収縮を呈し、心筋虚血が誘発された状態と定義されます。冠攣縮の病態には、血管内皮細胞障害によるNO産生低下や血管平滑筋障害が関与しています。術中の誘因として、低血圧による冠動脈低灌流、浅麻酔、エフェドリンなどの $\alpha$ 受容体刺激などが考えられます。この患者さんでは、硬膜外麻酔を併用することでセボフルランは通常よりやや低濃度で維持しており、この浅麻酔が冠攣縮の発生に関与していた可能性が考えられました。

術前麻酔科診察時に患者さんの胸部症状に関して情報を得られませんでした。胸部症状が労作時になく、術前4か月ほど全く認めていなかったため問診時に聴取できなかったようです。冠動脈攣縮性狭心症は症状が非典型的な場合が多く、その診断の上で詳細な問診に時間を割くべきであることが痛感されました。

術前麻酔科診察では麻酔に関する説明、その合併症の説明、術前の診察を限られた時間の中で行わなければならない、状況により十分な問診が出来ない場合もあります。こういった状況を改善できるよう、当院では従来、手術日前日に行っていた麻酔科受診を、手術を決定した段階で早期に行い、十分に詳細な病歴を聴取し必要な検査を術前に十分行えるような体制に移行しています。



## お願い.....

緊急に受診が必要な場合、当院代表電話（042-323-5111）に電話し、

（1）月～金 午前9時～午後5時の間は「〇〇科責任医師」

（2）午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」

とお申し付けいただき、直接担当医師とご相談ください。

ただし、一部診療科では専門当直医がおりませんのでご了承ください。

## ●● 講習会・研修会のご案内 ●●

● 医療連携臨床懇話会：平成22年10月28日（木）午後7時～を予定しております。

※詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

## ●● 各種講習会・勉強会のご案内（患者さん向け） ●●

※参加無料、事前予約不要です

● 糖尿病講習会（会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト）

- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」

日時：平成22年9月15日（水） 午後2時から午後4時

- 「メタボリック・シンドローム」「血液検査について」「動脈硬化と食事」

日時：平成22年10月20日（水） 午後2時から午後4時

- 「糖尿病と高血圧」「教育入院について」「減塩方法の実際」

日時：平成22年11月17日（水） 午後2時から午後4時

- 「糖尿病とインスリン」「インスリン製剤の管理」「年末年始の食生活」

日時：日時：平成22年12月15日（水） 午後2時から午後4時

当院は原則として、**紹介予約制**です。  
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、  
紹介状をお願い致します。

ご意見、ご投稿、お問い合わせは  
医療連携係（加藤・中台 内線2171）まで

### <電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

### <FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX：042-323-9205

**緊急の場合…必ずご一報ください。**

可能な限り専門診療科をご指定の上、  
担当医にご連絡ください。

**東京都立多摩総合医療センター**

〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29  
TEL 042-323-5111（代表）  
ホームページ <http://www.fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp/>

